



全日病 S-QUE 看護師特定行為研修

臨床薬理学

共通科目



2. 主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習／3. 主要薬物の相互作用の理論と演習

抗がん薬／抗菌薬 演習

国立がん研究センター 中央病院薬剤部 がん専門薬剤師

宇田川 涼子 氏

看護師特定行為研修 臨床薬理学

演習：抗がん薬／抗菌薬

国立がん研究センター中央病院
薬剤部 宇田川涼子

演習のねらい（学習目標）

- これまでの学習した知識をふまえ、抗がん薬の副作用または臨床症状への対応を症例に当てはめて考えることができる
- 病態や抗がん薬の副作用について複合的に考察することができる

演習1 抗がん薬

50才男性 腎細胞癌

検査の結果、切除不能の転移性腎細胞癌と診断され、治療が開始された。

手術ができないため内服薬による治療となり、スニチニブ 1日1回50mgを4週間連日投与し、経過観察となった。ところが、投与2週間ごろから指先がひりひりし、紅斑が認められた。

考えてみましょう

1. どのような副作用が発生したか
2. どのように対応するか
3. 患者への指導は
4. 予防法は

Thinking time...

50才男性 腎細胞癌

検査の結果、切除不能の転移性腎細胞癌と診断され、治療が開始された。

手術ができないため内服薬による治療となり、スニチニブ 1日1回50mgを4週間連日投与し、経過観察となった。ところが、投与2週間ごろから指先がひりひりし、紅斑が認められた。

1. どのような副作用が発生したか
2. どのように対応するか
3. 患者への指導は
4. 予防法は

演習2 抗菌薬

60才男性 胃全摘

手術後、セファゾリン注射2g/日を投与、翌日に38℃の発熱が認められ、検査の結果、白血球数24000、CRP10.5、Ccr60、創部から緑膿菌が検出された。

考えてみましょう

1. 発熱の原因は
2. 抗菌薬は何を選択すべきか
3. 抗菌薬の用法用量は

Thinking time...

60才男性 胃全摘

手術後、セファゾリン注射2g/日を投与、翌日に38℃の発熱が認められ、検査の結果、白血球数24000、CRP10.5、Ccr60、創部から緑膿菌が検出された。

1. 発熱の原因は
2. 抗菌薬は何を選択すべきか
3. 抗菌薬の用法用量は

演習3 抗がん薬/抗菌薬

36才 左乳癌

左乳房部分切除＋リンパ節郭清後

術後化学療法としてAC療法の後、ドセタキセル療法を開始した。

3コース目投与後、むくみの訴えが強くなった。

考えてみましょう

1. 情報として問診すべきことは
2. むくみの原因は
3. どのように対応するか
4. 患者への指導は

Thinking time...

36才 左乳癌

左乳房部分切除＋リンパ節郭清後

術後化学療法としてAC療法の後、ドセタキセル療法を開始した。

3コース目投与後、むくみの訴えが強くなった。

1. 情報として問診すべきことは
2. むくみの原因は
3. どのように対応するか
4. 患者への指導は